

一九四五午（芦中四年生）敗（終）戦の年

本土決戦が叶ふれ始り、授業ヲ全員、軍需工場へ勤労効員。
神武第ハセ九五工場、久保田鉄工所、武庫川工場、小生何時でも手めていたから。

褒賞

芦屋中學校挺身隊員

藤下典之

右之者恩情穩健ニシテ挺身學
徒トシテ志操堅實操行善良ニ
シテ後進學徒、教化指導ニ克
驅チ以テ範チ示シ至難ナル作業
肉彈挺身シ之が完成ニ努力力
セルハ勤勞學徒トシテノ功績抜群
ナリト認ム、依テ金壺封チ贈呈シテ
褒賞ノ意チ表ス

昭和二十年七月二日

神武第八セ九五工場
第二工作係長 辻村要

藤下典之殿